

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成26年8月8日
【四半期会計期間】	第24期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	株式会社サンマルクホールディングス
【英訳名】	Saint Marc Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片山 直之
【本店の所在の場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 網嶋 耕二
【最寄りの連絡場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 網嶋 耕二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第1四半期連結 累計期間	第24期 第1四半期連結 累計期間	第23期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	12,926,451	14,400,072	54,347,778
経常利益 (千円)	1,526,864	1,631,044	7,102,317
四半期(当期)純利益 (千円)	780,384	940,758	3,831,862
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	771,121	949,019	3,814,154
純資産額 (千円)	34,870,699	36,629,954	36,292,039
総資産額 (千円)	42,662,685	45,058,966	46,795,886
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	68.91	84.69	340.53
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.7	81.3	77.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、実質所得の低下が響いたことも相俟って、個人消費に落ち込みがみられましたが、企業業績の改善や設備投資の増加を背景に景気は回復基調を維持しながら推移いたしました。

外食業界におきましては、原材料価格の値上がり圧力や人員確保問題を背景とした人件費の上振れリスクが残るなど依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、将来の安定成長の基盤をより強固なものとするため、計画に則った出店を着実に進めるとともに、実験業態、既存業態のブラッシュアップ並びに店舗スタッフの教育研修に引き続き注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第1四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・バケット直営店3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店5店舗、石焼炒飯店直営店2店舗、サンマルクカフェ直営店9店舗、実験中の神戸元町ドリア直営店2店舗及び倉式珈琲店直営店2店舗をそれぞれ出店（当第1四半期連結累計期間出店数：直営店23店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第1四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店684店舗、フランチャイズ店84店舗、合計768店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高144億円（前年同期比11.4%増）、経常利益16億31百万円（同6.8%増）、四半期純利益9億40百万円（同20.6%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は76億16百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は10億33百万円（同9.5%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は60億87百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は8億92百万円（同10.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は450億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億36百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は111億99百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億5百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の支払、前年度末の集中新規出店による有形固定資産の取得等に伴う未払金の減少により、現金及び預金が21億6百万円減少したこと及び売掛金が4億69百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は338億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億68百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が5億80百万円、敷金及び保証金が86百万円それぞれ増加したこと、非連結子会社への貸付等による投資その他の資産のその他が2億38百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は58億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億76百万円の減少となりました。これは未払法人税等が11億99百万円、未払金が9億27百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は25億73百万円で前連結会計年度末と比較して1百万円の増加となりました。これは主にリース債務が67百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が67百万円増加したこと及び退職給付に係る負債が2百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して3億37百万円増加して366億29百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.3%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月8日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	11,388,685	11,388,685	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	11,388,685	11,388,685	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年4月1日 ~ 平成26年6月30日	-	11,388,685	-	1,731,177	-	14,355,565

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 280,500	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 11,042,700	110,427	-
単元未満株式	普通株式 65,485	-	-
発行済株式総数	11,388,685	-	-
総株主の議決権	-	110,427	-

(注) 1. 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株及び株主名簿上当社子会社である旧株式会社サンマルク（現株式会社サンマルクカフェ）名義となっておりますが、実質的に所有していない株式3,900株が含まれております。

2. 「単元未満株式」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義株式52株、自己保有株式99株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社サンマルクホールディングス	岡山市北区平田173番地104	280,500	-	280,500	2.46
計	-	280,500	-	280,500	2.46

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社子会社である旧株式会社サンマルク（現株式会社サンマルクカフェ）名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,900株あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の欄の普通株式に含めております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,357,003	8,250,806
売掛金	2,783,485	2,314,052
商品	157	127
原材料及び貯蔵品	247,850	260,425
その他	533,111	389,377
貸倒引当金	16,205	14,996
流動資産合計	13,905,402	11,199,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,692,296	17,272,759
土地	3,087,944	3,087,944
その他(純額)	1,997,143	2,062,830
有形固定資産合計	21,777,385	22,423,534
無形固定資産		
その他	159,671	157,714
無形固定資産合計	159,671	157,714
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,405,928	8,491,986
その他	2,547,610	2,786,050
貸倒引当金	112	112
投資その他の資産合計	10,953,426	11,277,924
固定資産合計	32,890,483	33,859,173
資産合計	46,795,886	45,058,966
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,965,006	1,706,092
未払金	3,380,729	2,453,382
未払法人税等	1,671,343	471,515
引当金	45,237	68,017
資産除去債務	1,776	-
その他	867,357	1,156,115
流動負債合計	7,931,451	5,855,123
固定負債		
退職給付に係る負債	112,882	115,157
資産除去債務	2,045,554	2,113,375
その他	413,958	345,356
固定負債合計	2,572,395	2,573,889
負債合計	10,503,847	8,429,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,038,800
利益剰余金	32,741,657	33,071,471
自己株式	1,245,958	1,246,118
株主資本合計	36,265,677	36,595,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,362	34,623
その他の包括利益累計額合計	26,362	34,623
純資産合計	36,292,039	36,629,954
負債純資産合計	46,795,886	45,058,966

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,926,451	14,400,072
売上原価	2,890,730	3,174,244
売上総利益	10,035,721	11,225,827
販売費及び一般管理費	8,530,095	9,591,306
営業利益	1,505,625	1,634,521
営業外収益		
受取利息	9,006	2,562
受取配当金	2,691	2,160
受取賃貸料	20,487	28,075
為替差益	6,601	-
その他	8,441	4,614
営業外収益合計	47,228	37,413
営業外費用		
支払賃借料	20,262	26,412
為替差損	-	2,268
その他	5,727	12,209
営業外費用合計	25,989	40,890
経常利益	1,526,864	1,631,044
特別損失		
固定資産除却損	160,982	65,972
減損損失	12,567	-
特別損失合計	173,549	65,972
税金等調整前四半期純利益	1,353,314	1,565,072
法人税、住民税及び事業税	485,335	521,530
法人税等調整額	87,594	102,782
法人税等合計	572,930	624,313
少数株主損益調整前四半期純利益	780,384	940,758
少数株主利益	-	-
四半期純利益	780,384	940,758

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	780,384	940,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,263	8,261
その他の包括利益合計	9,263	8,261
四半期包括利益	771,121	949,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	771,121	949,019
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
減価償却費	633,719 千円	700,603 千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	554,936	49.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	610,944	55.00	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	6,798,334	5,548,996	12,347,330	579,121	12,926,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,798,334	5,548,996	12,347,330	579,121	12,926,451
セグメント利益	944,280	808,950	1,753,230	247,604	1,505,625

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価130,428千円、各報告セグメントに配分していない全社費用696,298千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	7,616,469	6,087,148	13,703,617	696,454	14,400,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,616,469	6,087,148	13,703,617	696,454	14,400,072
セグメント利益	1,033,620	892,829	1,926,449	291,928	1,634,521

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価160,203千円、各報告セグメントに配分していない全社費用828,179千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	68円91銭	84円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	780,384	940,758
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	780,384	940,758
普通株式の期中平均株式数(株)	11,324,999	11,108,054

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年8月8日

株式会社サンマルクホールディングス
取締役会 御中

京都監査法人

指定社員 公認会計士 山本 眞 吾 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高田 佳 和 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンマルクホールディングスの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンマルクホールディングス及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。